



## 【参考1】奈良市総合交通戦略の関連事業一覧

### 奈良市総合交通戦略 関連事業一覧【全地域】

※赤字は重点施策及び事業

施策	主な取組	実施主体等						事業概要
		国	県	市	警察	交通事業者等	住民	
【施策2】 公共交通や自転車の利用促進（新型コロナウイルス感染症対策及びコロナ禍による影響の回復を含む）	奈良県自転車活用推進計画の推進	○	○	○	○	○	○	国が策定した自転車活用推進計画、奈良県自転車利用促進計画(H22)に基づくこれまでの取り組み、その他関連計画における自転車の位置づけなどを踏まえ、「観光振興」、「まちづくり」、「安全・安心」の3つの観点から、自転車の活用を進める上で必要な取組の計画を推進します。
	公共交通とまちづくりの連携(利用促進)			○		○		ポストコロナを見据え、バス路線の現状分析と、まちづくりと連携した利用促進施策と持続可能な交通体系を検討し、今後策定を検討している地域公共交通計画に内容を反映させる予定です。
	ウォーキング推進事業(歩数計アプリ)			○				市民等が歩数計アプリを利用することで歩く習慣をつけ、生活習慣病を予防します。
【施策4】 生活交通に関する安全対策	タクシー協会と道路損傷等による情報提供の協定			○		○		道路損傷等による危険箇所の早期発見、早期補修のため、奈良県タクシー協会奈良市支部と協定を締結し、早期により多くの情報の収集、より迅速な対応を行います。
【施策5】 渋滞緩和(交通分散)やバスの定時性向上に資する道路整備	都市計画道路の見直し			○				本市の都市計画道路ネットワークは、昭和41年の高度経済成長期における都市の拡大を前提に計画されたものが多く、近年の社会情勢の変化を踏まえると、都市計画決定から長期間経過し、その必要性に変化が生じている。このことから未整備路線について、本市の将来像を踏まえ、市内全体の道路ネットワークの配置や規模等を検討し整理・公表することで、都市計画に対する信頼性を高め、都市計画道路整備の円滑性や実現性を高めることを目指します。
	渋滞の解消に向けた取り組み	○	○	○	○			奈良県内における道路交通の渋滞解消・緩和に向け、奈良県、奈良国道事務所が事務局となり、関係機関、道路事業者、道路利用者団体等からなる「奈良県渋滞対策協議会」を設置し、渋滞対策の推進に取り組んでいます。奈良市も奈良県渋滞対策協議会と連携し、渋滞の解消に向けた取組を推進します。

### 奈良市総合交通戦略 関連事業一覧【東部地域】

※赤字は重点施策及び事業

施策	主な取組	実施主体等						事業概要
		国	県	市	警察	交通事業者等	住民	
【施策1】 利便性と効率性を両立した交通体系の確立(幹線・支線による役割分担、市外との連携など)と利用者増につながる取組	学校跡地の利活用(市立吐山小学校跡地等)			○		○	○	学校跡地などが保有する行政目的を終えた資産について、原則として貸付・売却による民間活用を検討し、収益確保を図ります。
	さとやま民泊推進事業			○			○	地域がもつ固有の魅力を効果的に発信するための基盤整備や来訪した人の利便性を向上させるサービスが必要であるため、民泊やグリーンツーリズムの取組に加え、安定した所得や雇用を創出し、交流人口の増加による地域の活性化を目指します。
	柳生街道散策ガイドブック作成			○				東部地域への導線の一つである柳生街道をPRすることで交流人口の増加を目指します。
	針テラスの利活用の検討	○		○				名阪国道と国道369号の交差点に設置し、奈良市の東の玄関口の意味を持つ道の駅「針テラス」において、観光客や利用者が楽しく、快適に、そして高い利便性で施設を利用できるよう、運営管理を行い、今後の利活用を検討します。
	旧月ヶ瀬給食センターを活用してのワーケーション支援事業			○			○	将来的な東部地域への入込客数、移住者、移転事業者の増加を図るため、ワーケーション施設等の運用事業者の経営が軌道にのるまで運用経費の一部を補助し、地域振興や地域が抱える課題を解決し将来的な発展につなげることを目的とします。
	市立小中学校の特認校制度			○				自然環境に恵まれ、その環境を生かした特色ある教育を推進している市立小学校及び中学校において、保護者・児童生徒が特に希望する場合に、一定の条件のもとに通学区域外からの就学を認めることにより、児童生徒の豊かな人間性を培うとともに、地域の活性化を図ります。

奈良市総合交通戦略 関連事業一覧【中部地域】

※赤字は重点施策及び事業

施策	主な取組	実施主体等						事業概要
		国	県	市	警察	交通事業者等	住民	
【施策1】 安全で快適に移動できる 徒歩・自転車通行空間の 確保と活用	新大宮駅周辺踏切道 ボトルネック対策 (新大宮第1号)			○		○		歩行者の安心・安全な歩行者導線を確保するため、対策が必要な踏切として改良を行います。
	商店街オープンテラス事業			○	○	○		コロナ禍の新しい生活様式に伴う市内の商店街への支援として、国土交通省の「沿道飲食店等の路上利用に伴う道路占用」の緩和措置を活用し、オープンテラス事業を実施。 3密を回避したテラス等の空間を創出するだけでなく、感染拡大に配慮した新たな賑わいの場への演出を目指します。
【施策2】 中心部への自動車流入 抑制	モビリティウィーク&カーフリーデーなら			○				地球温暖化や大気汚染、渋滞など、都市における車中心の生活から引き起こされる諸問題を解決し、持続可能な移動手段へと転換を目指す総合的な政策を実現します。
【施策3】観光の魅力向上 による観光客の滞在時間 増加と公共交通や徒歩に よる周遊観光環境の整備	新しい拠点の創出(旧奈良監獄周辺エリア)	○	○	○		○		奈良県と奈良市のまちづくりに関する包括協定に基づき、奈良公園周辺地区(旧奈良監獄周辺エリア)について、国、県、市、民間事業者の役割分担のもと事業を実施します。
	公民連携による駅舎等 (京終駅)の利活用			○		○	○	京終駅は平成29年度に往時の駅舎の姿に復元しました。駅舎に従来からの「駅機能」に加え、魅力あふれる「観光案内機能」と「コミュニティ機能」を付加しました。奈良町をはじめ京終を訪れる人々と地域に暮らす人々の交流拠点を目指します。
	公民連携による駅舎等 (帯解駅)の利活用			○		○	○	奈良町の南の玄関口に位置づけている京終駅観光案内所(京終駅舎)と効果的な連携を図り、奈良町を訪れる新たな導線構築、さらにはJR沿線各所との広域観光の充実につなげ、帯解駅舎の保存、活用を図ります。
【施策8】 駅を中心とした移動や 回遊の環境整備	奈良市ユニバーサルデザインマスタープランの移動等円滑化推進地区の整備推進		○	○	○	○		バリアフリー法(略称)の制定を受けて、基本構想を策定し、その実施計画となる特定事業計画に基づいた重点的かつ一体的な整備を行います。平成30年の法改正では、新たにマスタープランを策定し、地域と事業者と行政が一体となり、「共生社会」の実現に向けた取組をより推進します。

奈良市総合交通戦略 関連事業一覧【西部地域】

※赤字は重点施策及び事業

施策	主な取組	実施主体等						事業概要
		国	県	市	警察	交通事業者等	住民	
【施策2】 駅を中心とした移動や 回遊の環境整備	奈良市ユニバーサルデザインマスタープランの移動等円滑化推進地区の整備推進		○	○	○	○		バリアフリー法(略称)の制定を受けて、基本構想を策定し、その実施計画となる特定事業計画に基づいた重点的かつ一体的な整備を行います。また、平成30年の法改正では、新たにマスタープランを策定し、地域と事業者と行政が一体となり、「共生社会」の実現に向けた取組をより推進します。
	平城・相楽NTパワーアップビジョンのプロジェクト推進(まちびらき50周年イベント)			○			○	高齢化への対応、新規住民を呼び魅力化、そして住民・行政のニーズを反映し、将来にわたり良好な街として持続できるように、3市町およびUR都市機構等が連携し策定したまちづくりのビジョン実現に向けた各種プロジェクトを推進します。
	平城・相楽NTパワーアップビジョンのプロジェクト推進(高の原駅の駅前広場の魅力化)			○			○	低利用の公共空間や遊休不動産の再生により、その周辺地域に波及効果を生み出し、エリア価値の向上を図ります。パワーアップビジョンのプロジェクトの一つとして、まちびらきから50年が経過した高の原駅の駅前広場について、駅前広場の魅力化を図ります。
【施策3】 安全で快適な徒歩・ 自転車通行環境の確保	西大寺駅周辺踏切道 ボトルネック対策 (菟池第8号)			○		○		歩行者の安心・安全な歩行者導線を確保するため、対策が必要な踏切として改良を行います。
	富雄駅周辺の市道西部第586号線の整備			○				市民生活の環境整備の一環として、道路の新設改良を進め、道路としての機能を高め、安全で快適な生活環境をつくり市民生活の向上を図ります。